

令和7年度新宿区とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名：新宿区立しなのまち子ども園
施設所在地：新宿区信濃町20

1-1 活動テーマ『表現』

1-2 テーマ設定理由

様々な表現活動を通して、工夫したり、試したりできる創作活動を計画的に行い、随時作品の展示や、作品展も開催しています。子どもにとって絵を描いたり工作をしたりする創作活動は、心と体の成長につながるものとして楽しい体験を繰り返しています。子ども達の豊かな感受性や興味関心を生かし自分で作る喜びや満足感を得る体験を子ども達の更なる興味関心を深め、それを感じて探求心へと広げていきたいと考えテーマに設定しました。

2-1 活動スケジュール

- 5月 絵の具に触れよう
- 6月 色々素材をちぎってみよう
- 7月 手形アート花束 (0・1・2歳児クラス)
足跡絵画 (3・4・5歳クラス)
- 9月 カラフルねんどをつくろう
- 10月 夜の空を描く (0・1・2歳児クラス)
宇宙を描く (3・4・5歳クラス)
- 11月 空を描こう
- 12月 ドロッピングで描いてみよう
- 1月 色のりで感触遊びをしよう (0・1・2歳児クラス)
コラージュしてみよう (3・4・5歳クラス)
- 2月 ローラーでステンシル絵画に挑戦しよう
(0・1・2歳児クラス)
うつつし絵しよう(3・4・5歳クラス)



3-1 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・絵の具、水、糊、クレヨン、丸シール、紙粘土、アルミホイル、段ボール片、ストロー、画用紙、和紙、模造紙、ティッシュペーパー、リボン、毛糸、プラスチック版、筆、スポイト、スポンジローラー等

・年齢に応じて、机上での活動に留まらず、床にブルーシートを敷き、ダイナミックに全身を使った表現活動に取り組める環境も設定していききました。

4-1 探究活動の実践 活動の内容

年齢や活動内容に合わせて素材や道具を準備し、学年ごとに造形講師により、感性や色彩感覚を刺激する制作や多様な色に触れる遊びが展開されました。子ども達は、自由に道具を使ったり、素材を選んだりしながら、不思議や発見を楽しみ、試行錯誤する姿がありました。「今日はすくわくの日だね！」と期待する気持ちは活動意欲に繋がっていききました。

4-2 活動中の子供の声、子供同士や保育者との関わり

スポイトを使った、色彩の変化は、子ども達の驚きや発見を刺激し「宇宙みたい」「虹が広がった」「花火」などイメージを広げていきました。スポイトの押し方やスポンジローラーの力加減など道具の扱いによって織りなす様々な制作の変化は、大きな共同制作の中で、友達と楽しさを共有し、笑い合い取り組む活動は新鮮に見えました。また、友達と作品を見せ合いイメージを話したり、感じ合うと「いいね」「本当だ、すごい」と認め合う関わりをとおして、友達とつながることの楽しさや面白さを実感していたと思います。

5-1 振り返り 振り返りによって得た先生の気づき

子どもが自分の考えや表現を言葉や仕草で表し、友達や講師、保育者とわくわくする気持ちを共有する活動は、子どもの興味を広げ、探究心へと深まっていくことを感じました。アートをテーマにしたすくわくプログラムは、自由な表現活動の中から生まれる子ども達の反応や発見に着目し、子どものつぶやきやアイデアを保育に取り入れながら、環境構成や活動内容を年齢毎に工夫し、展開させることができました。

令和7年度とうきょうすくわくプログラム (運営係園)

2月ローラーでステンシル絵画に
挑戦しよう (2歳クラス)

12月ドロッピングで描いてみよう
(1歳クラス) (4歳クラス)



11月夜の空を描こう(0歳クラス)

2月色々な素材をちぎってみよう
(3歳クラス)

7月足跡絵画 (5歳クラス)